

美しい箱根を守ろう

第42回美化大会

8月10日(火)、湯本小学校で開催した第42回美化大会には、地域の自治会、女性会、小学生、中学生、箱根みどりの少年団、箱根町たばこ商販売促進協議会、町観光美化パトロール隊など35人の方が参加しました。

当日は、日ごろ観光美化に功績のあった団体と個人の方々に感謝状が、また、観光美化・自然愛護標語、作文、ポスターコンクールで1等に入賞した児童生徒に賞状と盾が、それぞれ町長から授与されました。

その後、来賓の祝辞に続き、観光美化・自然愛護作文コンクール1等入賞者を代表して、宮城野小学校6年生小林ましろさんが『緑少』と私』を朗読しました。また、箱根ライオンズクラブから、緑化推進用の苗木が町に寄贈されました。なお、この日を中心に町内の自治会を

はじめ、各種団体の皆さんが、清掃作業を行いました。
〔受賞された方々〕(敬称略)
 「箱根を大切に美しくする」
 貢献者表彰(1団体5個人)

- 個人 第一長生会
- 瀬戸 サカ
 - 佐藤 信子
 - 横山 たか
 - 中里 清勝
 - 大石 光孝



観光美化・自然愛護 標語、作文 ポスターコンクール 入賞者決まる

今年で35回目を迎えたこのコンクールには、町内の小・中学校11校から、標語の部に92点、作文の部69点、ポスターの部に812点の応募があり、厳正な審査の結果、次のとおり各学年別の1等入賞者が決まりました。

標語の部 1等作品

「ずっと
ずっと
きれいな箱根」

宮城野小学校1年
村井 翔さん



函嶺白百合小学校4年
島田佐和さん
(啓発用ポスターに採用)

区分	標語、作文の部		ポスターの部		
	学年	氏名	学校名	氏名	学校名
小 学 校	1年	村井 翔	宮城野小学校	落合 茂	恵明学園小学校
	2年	大西すみれ	函嶺白百合小学校	落合雪美	恵明学園小学校
	3年	古川 洸	湯本小学校	末吉梨菜	宮城野小学校
	4年	三浦 淳史	宮城野小学校	島田佐和	函嶺白百合小学校
	5年	森 礼子	函嶺白百合小学校	池田美保	恵明学園小学校
	6年	小林ましろ	宮城野小学校	坂井知佳	函嶺白百合小学校
中 学 校	1年	上田 祥貴	箱根明星中学校	上田祥貴	箱根明星中学校
	2年	望月 心映	箱根明星中学校	神保裕香	箱根明星中学校
	3年	武 のぞみ	湯本中学校	勝俣安登武	仙石原中学校

注：標語の部は小学校1年生が対象です。

美化大会朗読作品

「緑少」と私

宮城野小学校六年 小林 ましろ



「転校なんかしたくない。」
 両親から、いつかは転校しなければいけないと告げられました。その時転校したくないと強く思いました。なぜなら、私は箱根で生まれ箱根で育ち、友達もいるからなれたくないと思っただけです。でも、それだけでなく、自然が豊かな箱根が私は大好きだからです。

特に緑がたくさんある自然が好きだったわけではありません。そのきっかけとなったのが、「緑の少年団」です。幼いころから、近所の人から入会を勧められていました。強く入りたいたいと思っていただけではありません。私が、何となくおもしろそうだなと思いついて、四年生になって入会することにしました。また、仲の良い友達も入っていたことも

動機の一つでした。私たちが、「緑の少年団」のことを、通称「緑少」と呼んでいます。「緑少」の仲間、小学校二年生から、高校一年生の人まで様々です。大人の人も、活動を手伝ってくれ指導してくれます。これまで活動したこと、森浴ウォークでのゴミ拾い、緑の募金です。夏には野外キャンプをしたり、冬にはスキーに行ったりします。主にボランティアが中心の活動をしているという点になります。私はまだ体験していませんが、植林したり北海道の有珠山に行つて見学をしたりすることもありますが、私にはありません。

募金活動をしていると、「がんばってね。」などと声をかけられることもあり、私が緑を守るために役に立っているのだと思うと、とてもうれしく感じます。さて、私は「緑少」での体験を通して、緑の大切さを知ることができました。もう一つ箱根町の未来についても考えるようになり、私がイメージする未来の箱根は、今よりもっともっと緑にあふれている場所ということになります。そして、自然が豊かなばかりでなく、その中で人も豊かになることができてほしいと思います。

私が「箱根からなれたくない」と思っているように、今箱根に住んでいる人たちにも箱根を愛してほしいと思います。そして、訪れる観光客の人たちにも、より箱根の素晴らしさを知ってもらいたいと思います。「緑少」の仲間がみんなもつ『緑の手帳』には「緑の誓い」が書いてあります。そこにある「緑を愛します」「緑と遊びます」「緑を守り育てます」という三つの誓いを大切だと思っています。私自身もこの誓いを守っていくつもりです。みんなにも知ってもらいたい言葉です。そうすることが、緑が豊かでも豊かにならなくてはいけない箱根町になっていくのではないのでしょうか。